

登録コード	T9004240		開講年度	2026			
授業科目	機械システム概論(建築)(16T以降)					担当教員	種村 昌也 他
英文授業名	Introduction to Mechanical Systems					副担当	
単位数	1	講義期間	後期(随時)	曜日・時限	月曜・6時限	対象学生	建築学科2年生
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	該当
						備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2.5Tカリ, 2.3Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。					・機械システムの基礎知識を習得し、それを応用して実際の問題を解決できるようになる。 ・機械システム工学の成り立ちや考え方を理解して、工業技術について自分で考え他人に説明できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	身近な機械やロボットを題材として、機械のメカニズムや設計法について学習する。 また、機械をつくるために必要となる、材料、エネルギー、計測・制御技術、などに関する基礎的な知識を習得する。						
(5)授業計画	第01回11/09 概論 担当：辺見 第02回11/16 材料 担当：松中 第03回11/26 加工 担当：榊 第04回11/30 力学 担当：西村 第05回12/07 エネルギー1 担当：松原 第06回12/14 エネルギー2 担当：松原 第07回12/21 ロボット(制御) 担当：千田 第08回01/04 計測 担当：高山						
(6)成績評価の方法	各テーマごとのレポートまたは授業内の小テストにより評価する。 講義を通して学んだこと、身近な機械やロボットについて自ら調べたこと、などをまとめる。 機械の仕組み、材料、エネルギー、計測制御技術についての考え方や基礎的な知識の習熟度を評価する。 8個の各テーマ毎に100点満点として集計して、8個の平均を成績入力する。ただし、未提出(0点)が3個以上の場合は 不可(0点)とする。						
(7)成績評価の基準	8つのテーマの素点を総合し、100点満点に換算することにより、機械システムに関する幅広い知識の到達度を測り、つぎのように評価する。 可:60%程度の基礎知識を有する。 良:70%程度の基礎知識を有する。 優:80%程度の基礎知識を有する。 秀:90%以上の基礎知識を有する。						
(8)事前事後学習の内容	技術の幅の広げるためには、この授業をきっかけに、各テーマの専門書を一読することが望ましい。						
(9)履修上の注意							
(10)質問,相談への対応	各テーマの担当教員へ質問すること。						
(11)その他							
【教科書】	指定なし						
【参考書】	指定なし						